



株式会社さぬき市SA公社 ワイン事業部（さぬきワイナリー）

【ワイン事業部概要】

創 業……1988年4月
代 表 者……代表取締役 大山茂樹
従業員数……8名（工場長、生産、営業、販売、総務）
事業内容……果実酒、甘味果実酒、
清涼飲料水の製造・販売



さぬきワイナリー外観

【企業紹介】

さぬきワイナリーは1988年に旧志度町の第3セクターとして、農業振興を目的に設立され、2012年4月よりさぬき市の第3セクター「株式会社さぬき市SA公社」と合併しておりますが、四国最初のワインメーカーとして30年が経過しました。



ワイン用ぶどう「香太農R-1」

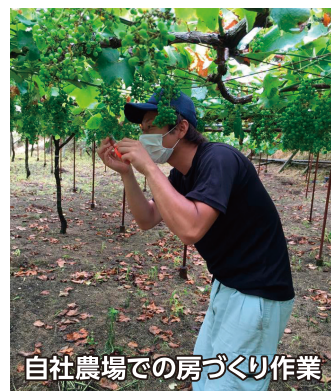
醸造されるワインは、香川県産100%のぶどうを原料としており、県内を中心に地元の食材を使った料理と共に味わって頂いておりますが、近年では「日本ワイン」として県外からの受注も増えてきております。

又、地域の畜産農家との連携でぶどうの搾りかすを飼料として利用して頂き、その糞からできた堆肥を自社栽培ぶどうの肥料に利用するなど、循環型農業にも取り組んでおります。

【安全衛生活動】

さぬき市SA公社では、毎年度の方針書に必須項目として「安全・安心の確保」が掲げられ、安全衛生活動が会社としての重要な責務と位置づけられており、「労働災害ゼロ」や「健康で快適な職場づくり」のために、日常業務における安全衛生管理及び緊急時の安全確保に取り組んでおります。

ワイン事業部の「労働災害ゼロ」への取り組みの基本的考え方として、製造工程における「ロックアウト及び声掛け、等による安全作業の徹底」を重点施策としております。



自社農場での房づくり作業



さぬきワイン ラインナップ

また、「健康で快適な職場づくり」の一環として、毎月休館日を利用し、日常業務から離れ、全員で日光浴、森林浴を兼ね、ぶどうの栽培管理に従事しており、心と体の健康維持、体力づくりの一助としております。

引き続き、「安全・安心の確保」の観点から、より安全で安心して働ける職場環境づくりを目指し、従業員一丸となり、活動に取り組んでいきたいと考えております。